

C-2 ミシン用カタン糸に関する研究 (オ2報)

立正女大家政 松田歌子

目的 先にミシン用カタン糸 ロービキ糸とフツウ糸の 性質を調べた結果 両者間に かなりの差が認められた。そこで今回は引続き両糸の 縫製及び洗濯による糸の疲労や縫目強度について 比較検討を試みたので報告する。

方法 試料は市販のミシン用カタン糸 ロービキとフツウ糸の 50番60番を使用。

ミシン種目の調整を行い、糸には20cmの间隔に印をつけて 縫製を行い洗濯する。

(1) 引張り試験機を用いて、原糸及び縫製後と洗濯10・20・30・50回後の 糸の切断強度を比較する。

(2) ロービキとフツウ糸の見かけのヤング率及び荷重伸長曲線の変化から 糸の性質の変化を検討する。

(3) グラフ法により 両糸の縫目強度を比較する。

結果 (1) 糸の強さ(切断重量)は 原糸ではロービキ糸がフツウ糸より優れているが、ミシンがけによつて ロービキ糸の強度は著しく低下し、洗濯10回行った後はフツウ糸と ほとんど差が認められない。

(2) 原糸の時、ロービキ糸はフツウ糸の4~5倍のヤング率であるが、洗濯10回後の荷重伸長曲線は フツウ糸と全く同一である。

(3) 縫目強度も、縫製そのまゝでは ロービキ糸がフツウ糸より優れているが、洗濯10回後では 両糸間に明確な差は認められない。